

景観でつながる情報誌

益田 PLUS+ 景観

Masuda PLUS+ Keikan



景観を支える建造物



知りたい！益田市の取り組み

・景観計画作成チームについて

景観塾

・景観重要建造物とは

景観を支える人たち

・やる気会

・大塚緑の少年団



この情報誌は近畿大学建築学部都市計画研究室が作成しています。平成 21 年度から大阪の学生が益田を訪れていますが、益田の人々にとって当たり前風景も、近畿大学の学生である私たちにとっては、特別な素晴らしい風景なのです。益田景観に対して取り組みを行なう市民の方々や、私たちがこれまでに取り組んできた活動の紹介、益田で感じた魅力を情報誌に収めています。

景観を支える建造物

地域の歴史や文化を物語る建造物などは、個性豊かな都市景観の形成に欠かせない、大切な景観資源です。今回の特集では、益田市独自の景観の核となる可能性のある建造物を紹介します。



1

1 歴史民俗資料館

正面の車寄せから前後左右に突出する入母屋造の翼屋が付く平面構成は、大正期の役場建築の特徴を示している。警察署、総合事務所を経て、資料館となった今では登録文化財として歴史的景観に寄与している。



2

2 染羽天石勝神社

本殿は三間社流造で、三間×三間の身舎の前に奥行き一間の吹放し板張りの庇床を設け、両側のみが高欄付の縁がある。このような構造はとても珍しいものである。



5

5 高津柿本神社

津和野藩主亀井茲親によって現在地に移築された拝殿は津和野城から参拝できるように津和野の方向へ向いている。どっしりとした風格の入母屋造の本殿は県建造物文化財である。



6

6 市民学習センター

屋根全体が赤瓦である点が特徴的である。周辺の景観を崩すことなく、白壁と赤瓦屋根の調和が上手くとれた建物である。



9

9 ほのぼのハウスみと

外観は、中央にモルタル塗りの玄関、両翼に下見板張りの水色掛かった壁面をもつ、左右対称の構成をしている。洋風でモダンな細部と赤瓦の小さな屋根がアクセントになっている。



10

10 旧中原酒造

格子窓の素材、漆喰の壁面、瓦屋根の、それぞれの調和がこの建物の魅力である。かつてのまちなみを思い起こさせてくれる価値ある建築である。



11

11 美濃地屋敷

茅葺の母屋をはじめ、勘場、牛舎、養蚕室、二階蔵を有し、配置の構成、屋根の大きさや高さが絶妙なバランスを保っており、厳格さと共に優美さを併せ持っている。冬の銀世界では赤茶の瓦が映える。



12

12 秦記念館

石垣と板張り壁でつくられた長屋門は、益田の中でも数少ない景観である。



13

13 グラントウワ

屋根と外壁を覆う二十八万枚の赤瓦は、天候や時間によって様々な表情を見せる。光の角度によっては金色に輝き、青空が広がれば薄い青色に変わる。

知りたい！益田市の取り組み 景観計画作成チームについて

七月二十五日に景観計画作成チームの第一回目の会議が行われました。景観計画作成チームは、「益田市景観計画」の内容について、市民目線で考えていくために設置されたものです。

チームは、建築や美術、観光、地域づくりなどの各分野の専門家十名で構成されています。

第一回目の会議では、景観計画策定の趣旨・今後のスケジュール、作業の進め方等について確認しました。会議中は、景観計画や地域の景観そのものに対する意見・質問などが相次ぎ、活発な議論がなされました。

次回以降は、ワークショップ形式のグループディスカッションにより意見抽出を行い、景観計画の具体的な内容について話し合っていく予定です。



4

4 安富橋

赤い橋は華美になってしまふことが多いが、安富橋の赤は存在感を主張しながらも周囲の景観に溶け込んでいる。



3

3 萬福寺

鎌倉時代の様式を残す本堂は、左右対称であり、反った屋根が特徴的である。現在、国の重要文化財に指定されている。



8

8 医光寺

医光寺総門をくぐって中へ進むと趣きのある本堂がどっしりと構えている。



7

7 医光寺総門

県指定有形文化財に指定されている風格のある医光寺総門。屋根の中央部分より、左右が一段下がった構造になっている。

景観塾

「美しく風格のある国土の形成」「潤いのある豊かな生活環境の創造」「個性的で活力ある地域社会の実現」などを目的としている景観法の内容から今回は重要建造物について紹介します。

景観重要建造物（景観法運用指針より抜粋）

景観重要建造物は、景観法施行規則に定められた基準に従い、景観行政団体の長が指定するものであり、景観計画の「景観重要建造物の指定の方針」に沿って指定されます。

基準のひとつには、「地域の自然、歴史、文化等からみて、建造物の外観が景観上の特徴を有し、景観計画区域内の良好な景観の形成に重要なものであること」があります。

これは地域の自然、歴史、文化、生活等の地域の景観上の特徴を、外観に有すると認められる建造物であること、また、その建造物の外観が、景観計画区域において、良好な景観の形成を推進する上で重要なものであるという趣旨です。ここで注意したいのが、その建造物自体の歴史的価値や文化的価値を問う趣旨ではないという点です。

そのため、歴史的な様式を継承した新しい建造物を指定することや、新たな都市文化を創造することが望まれる地域では、そのシンボルとなるような建造物を指定することも考えられます。

もうひとつの基準である「道路その他の公共の場所から公衆に

よって容易に望見されるものであること」とは、地域の景観上の重要性からみて、所有者やその他の限定された人だけしか見ることができない建造物を指定することは、不適切であるという趣旨です。

また、景観法では、建造物の敷地、建造物周辺の燈籠、敷石、石垣、付属する庭園等が当該建造物と一体となって良好な景観を形成している場合に、それらも、景観重要建造物に含まれるものとして指定することが可能とされています。

左の写真は景観重要建造物に指定されている建物の一例です。兵庫県伊丹市の長寿蔵は、伊丹郷町内でもほとんど残り少ない伝統的な酒蔵の建物が、活用されながら残されている貴重な事例です。さらに、その活用方法が成功している点でも評価されています。



白雪ブルーベリービレッジ長寿蔵
(兵庫県伊丹市)

景観を支える人たち

益田市内で活動している景観活動団体を
紹介します。

【やる気会】

代表者 東仙道地区振興センター長 野村達也 氏

良い景観とは、将来ずっと心に残る景色です。益田市には昔ながらの風景が残っています。子どもたちがどこに行っても帰ってきたときに懐かしめるような場所をつくるのが大切だと思います。

四つ山は、名前のとおり標高二百メートル余りの同形・同高の四つの山が東西に並んだもので、地域の象徴として古くから里人に親しまれています。中世に山城があった四つ山を思い出していただけたらと思います。数年前は、四つ山の中間で竹を切つて山の上まで運び、城の枿をつくっていました。今は、安全面を考え直し、鉄パイプを使っています。市外から帰ってきた人が見て喜んでもらえるようお盆に実施しています。

また、正月に里帰りする人に向けて、巨大クリスマスツリーの作製もしています。東仙道小学校にある約二十三メートルのヒマラヤスギに電球二百個を巻きつけてライトアップしています。今では、里帰りする人たちだけでなく、地域の人々も楽しみにしてくれているイベントとなっています。



▲一夜城



▲クリスマスツリー

【大塚緑の少年団】

代表者 おおつか農協組合長 大畑軍人 氏

中島町大塚地区では、約四十年前に松食い虫の被害を受けて松が枯れてしまいました。

松を復活させたいという思いから大塚緑の少年団が結成されました。はじめに、抵抗性クロマツの苗木を約二千本植樹しました。全てのクロマツに水を与えることは大変でしたが、毎年継続して植樹することで、今では約一万二千本の松を復活させることに成功しました。

また、松が育つのと並行して松林の地中に松露（キノコ）もできました。自然の大切さを次世代にも伝え、松林の整備を引き継ぐことで、将来は、松露祭りができればと思っています。

さらに、子どもたちに幅広い自然に触れてもらい、大塚地区の自然を守ってくれる後継者をつくるために、地引網体験学習や海岸の美化、間伐材丸太切り、花壇整備、アルミ缶リサイクルなど様々な活動をしています。活動を通して、地域住民同士の交流する機会も増え、地域のまとまりも強くなっています。



▲間伐材丸太切りの様子



▲植林の様子

表紙の写真

表紙を飾る益田の風景は、近畿大学都市計画研究室が撮影したものです。雄大な自然、赤瓦によってつくられる景観は私たちに日本の原風景を連想させてくれます。

「集落と棚田」

益田市中垣内町

この写真は益田市中垣内町の風景です。中垣内町には棚田百選に選ばれた綺麗な棚田があります。一つ一つの田んぼは小規模ですが、それらが重なることで美しい棚田景観を創出しています。また、棚田を見守るように赤瓦屋根の家が点在しており、自然と調和のとれた景観となっています。



次号予告

益田景観 秋号

Masuda PLUS+ Keikan

次号は、日常的に様々な人々が利用し、多くの人の目に触れる道路や河川等の公共施設について取り上げる予定です。公共施設は、建築物や広告物等とともに、景観を構成する重要な要素の一つです。



【制作】

近畿大学 都市計画研究室

〒577-8502

大阪府東大阪市小若江 3-4-1

都市計画研究室ホームページ

<http://urbanlab-kindai.main.jp/>

都市計画研究室ブログ

<http://urbankindai.blog84.fc2.com/>